

令和4年度 がん教育総合支援事業がん教育推進校実践報告	
田布施町立麻郷小学校	学級数： 9学級 生徒数：161人

学年 第6学年	教科 学級活動
題材名 「がんについて考えよう」	
がん教育において取り扱う具体的な内容 <input checked="" type="checkbox"/> ア がんとは（がんの要因等） <input type="checkbox"/> イ がんの種類とその経過 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 我が国のがんの状況 <input checked="" type="checkbox"/> エ がんの予防 <input checked="" type="checkbox"/> オ がんの早期発見、がん検診 <input type="checkbox"/> カ がんの治療法 <input type="checkbox"/> キ がん治療における緩和ケア <input checked="" type="checkbox"/> ク がん患者の生活の質 <input checked="" type="checkbox"/> ケ がん患者への理解と共生	
使用教材 ・小学校版 映像教材「がん博士の『がんについての基礎知識』」	
<p>本時の流れ</p> <p>1 / 2時</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 がんについて知っていることやがんのイメージについて考える。 2 がんの発生と進行、予防について知る。 3 池江選手ががんとどのように向き合ったのか考える。 <p>2 / 2時</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自分のがんになってしまった場合の気持ちや生活について考える。 2 がん患者（家族）の立場に立って、どんな関わり方（言葉かけ・態度等）がよいか考える。 3 がん患者の体験談を聞く。 4 がん患者の体験談を聞き、感じたことや、がん向き合う人へのよりよい関わり方について考える。 	
外部講師との連携 がん経験者 あげぼの山口 代表 和崎 美幸 氏	
教育講演会 コロナ禍のため、開催なし	
<p>成果と課題</p> <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1時の池江璃花子選手の授業で、あらかじめがんという病気、がん向き合う人の思いや覚悟を学んでおくことで、第2時のがん経験者のお話がより深く理解できた。 ・家族とともに前向きにがん向き合う方のお話が、児童の心に響いたようだった。がん患者と関わる際には「その人の思いをしっかりと聞く」こと、苦しみを「わかちあう」ことなど、がん患者のみならず日々他者と関わる中で大切なことに気づくことができた。 ・アンケートの結果、将来がん検診を受けようと思う児童の割合が増え、意識が高まった。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん経験者のお話はとても心に残るもので、それを軸に授業を展開した。しかし、外部講師を招聘するのが難しい場合もあり、前時の授業も参観しなかったとの声があった。 ・保護者も授業を参観でき、講演会を開催することでさらに効果的な取組になると感じた。 	

令和4年度 がん教育総合支援事業がん教育推進校実践報告	
山口県立田布施農工高等学校	学級数：12 学級 生徒数：335 人

学年 第1学年 食品科学科	教科 保健
題材名 現代社会と健康～生活習慣病などの予防と回復（がんの発生と予防）～	
がん教育において取り扱う具体的な内容 <input checked="" type="checkbox"/> ア がんとは（がんの要因等） <input type="checkbox"/> イ がんの種類とその経過 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 我が国のがんの状況 <input checked="" type="checkbox"/> エ がんの予防 <input checked="" type="checkbox"/> オ がんの早期発見、がん検診 <input checked="" type="checkbox"/> カ がんの治療法 <input checked="" type="checkbox"/> キ がん治療における緩和ケア <input type="checkbox"/> ク がん患者の生活の質 <input checked="" type="checkbox"/> ケ がん患者への理解と共生	
使用教材：がん教育推進のための教材 補助教材（文部科学省）	
<p>本時の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 がんについての復習を行う。 <ol style="list-style-type: none"> ①がんの原因について考える。 ②がんの治療法について考える。 2 がん患者について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・がんにかかっている人がいたときにどのように接するだろうか。 3 患者の状況や心情について考える。 4 本時の学習の振り返り、ワークシートに記入する。 	
<p>外部講師との連携</p> <p>周東総合病院 外来化学療法室 がん化学療法看護認定看護師 山田 純子 氏</p>	
<p>教育講演会</p> <p>周東総合病院 外来化学療法室 がん化学療法看護認定看護師 山田 純子 氏 「がんについて知る」 対象 教員</p>	
<p>成果と課題</p> <p>（成果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を通じて、がんに対してやがん患者がどのように接して欲しいのか、何を望んでいるのか、深く考える良い機会となった。 ・実際にがん患者と接している外部講師の活用により、より現実的な話を聞くことができた。 ・振り返りのシートから、がん患者だけでなく、人との関り方について考え直すことができたようである。 <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の1単位や2単位だけでなく継続的に進めていくことが大切であると考える。 ・小学校、中学校との継続性・連携を図ることが課題である。 	